

## 缶サット甲子園2013 岐阜大会開催要項

- 1 目的 高校生が自作した缶サット（空き缶サイズの模擬人工衛星）を打上げ、上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競うことで次のことを目的とする。
- (1) 理工系の楽しさ、面白さ、魅力などを感じてもらい、広く科学や工学への興味と関心を高めること。
  - (2) 座学で学んだ知識について、その働きと役割を自ら実感できる体験をすること。
  - (3) 与えられた課題だけでなく、生徒自ら課題を発見できる能力やプレゼンテーション能力を身につけること。
  - (4) 理工系への進路選択を後押しすること。
- 2 日時 平成25年 7月13日（土）  
7月15日祝（月）予備日
- 3 主催 缶サット甲子園2013 岐阜大会実行委員会  
運営主体 岐阜大学  
共催 岐阜県高等学校教育研究会 工業部会電気・通信系分科会  
後援 岐阜県教育委員会（予定）  
各務原市（予定）  
一般財団法人 公園財団木曾三川公園管理センター河川環境楽園  
かがみがはら航空宇宙科学博物館  
岐阜県高等学校教育研究会 理化部会
- 4 会場 ・機体・性能・事前プレゼン審査会場：かさだ広場  
一般財団法人 公園財団 木曾三川公園管理センター  
（岐阜県各務原市川島笠田町）  
・プレゼン発表会場：かがみがはら航空宇宙科学博物館 1F 体験工房  
（各務原市下切町5-1）
- 5 日程
- |             |  |
|-------------|--|
|             | 受付、プレゼンと投下順番のくじ引き                                    |
| 8：30～       | 開会式  |
| 9：00～11：00  | 機体審査（サイズ、重量など計測）<br>性能審査（投下、動作確認）<br>事前プレゼン<br>移動・昼食 |
| 12：30～13：30 | 事後プレゼン準備   |
| 13：30～15：00 | 事後プレゼン<br>（各チーム10分のプレゼンテーション）                        |
| 15：10～15：40 | 審査／特別講演&特別施設見学（予定）                                   |
| 15：40～15：50 | 審査結果発表・閉会式   |
| 16：00～      | 片付け終了後、解散  |
- （当日のタイムスケジュール） ※参加校の数により変更となります。
- 6 申込み方法  
缶サット甲子園の申込み時に、希望する地方大会名を **岐阜大会** として大会事務局に届出を行なってください。
- ・学校1チームのみとし、複数エントリーは認められません。
  - ・チームは、同じ学校の生徒で構成するものとします。複数の高校による混成チームは認められません。
  - ・地方大会・全国大会にエントリーできるのは、生徒3名・指導教員1名の計4名です。ただし、製作作業にあたってのサポートメンバーの人数は限定しません。
- 参加チームは所定の書類を大会事務局に送付してください。
- ・平成25年度「缶サット甲子園」参加申込書

- ・平成25年度 協議会参加生徒名簿
- ・メディア報道に関する承諾の御願い（※チームの生徒全員分必要）
- ・参加を希望する地方大会名

送付先は和歌山大学 宇宙教育研究所が窓口となっております。

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930番地  
和歌山大学 宇宙教育研究所 気付  
「理数が楽しくなる教育」実行委員会 事務局 宛

申込み締め切りは **6月10日（月）** とします。  
（何らかの事情で申込みが間に合わない場合は、事前に御相談ください）

- 7 保険  
参加に当たっては、国内旅行保険に各自で必ず加入してください。主催者側としては保険には入りません。
- 8 審査内容  
事前プレゼン審査、機体審査、性能審査、事後プレゼン審査の4審査について評価し、全国大会出場校（出場枠は現在調整中）を決定します。審査は、基本的に全国大会のレギュレーションに沿って行ないます。  
また、予選時での缶サットの性能だけでなく、将来性（全国大会へ向けての改良プランおよび及びそのマネジメントプラン）についても審査します。  
※悪天候や投下装置の故障等により性能審査ができない場合は、事前プレゼン審査、機体審査、事後プレゼン審査のみ実施します。  
※各プレゼン、機体審査/性能審査の順番は、受付後にくじ引きで決めます。
- (1) 事前プレゼン審査  
（A 3パネル2枚程度を用いた5分以内のプレゼンテーション）  
ミッションアイデア「自らミッションを設定し、どう実現するのか」を説明して下さい。また缶サットの機構、性能だけでなくキャリアの放出機構についても説明して下さい。事前プレゼンでは、機体及び放出機構の独創性、技術について審査します。なお、プレゼン資料の書式は自由です。
- (2) 機体審査  
サイズ、重量など計測
- (3) 性能審査  
自作した缶サットを、運営主体が提供するキャリアに入れ、バルーンに搭載して投下し、キャリアからの缶サット放出、自ら設定したミッションの実行、投下後にミッションの結果確認を行います。なお、缶サットの投下高度はおおよそ40m前後を予定していますが、気象の状態によっては高度を下げて投下する場合があります。また当日の運営状況によっては、審査員の判断により投下順序を変更することがあります。  
・放出された缶サットが安定して降下するかの確認  
・着地した時、機体が損傷していないかの確認  
・自ら設定したミッションが達成できているかどうかの確認（事前プレゼンとの比較）
- (4) 事後プレゼン審査  
自ら設定したミッションの結果を自己評価し、全国大会へむけての改良プランおよびマネジメントプラン（スケジュール等）を発表します。なお、プレゼン資料の書式は自由です。  
・審査時間 10分間（プレゼンテーション7分、質疑応答3分）
- 9 審査員  
大会実行委員会等で、計3名を予定しています。
- 10 審査結果について  
全ての参加校の競技終了後、審査員で協議して決定し、発表します。
- 11 連絡先  
缶サット甲子園2013 岐阜大会実行委員会  
事務局長 住所 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学 工学部 機械工学科 知能機械コース  
准教授 宮坂 武志  
TEL 058-293-2523